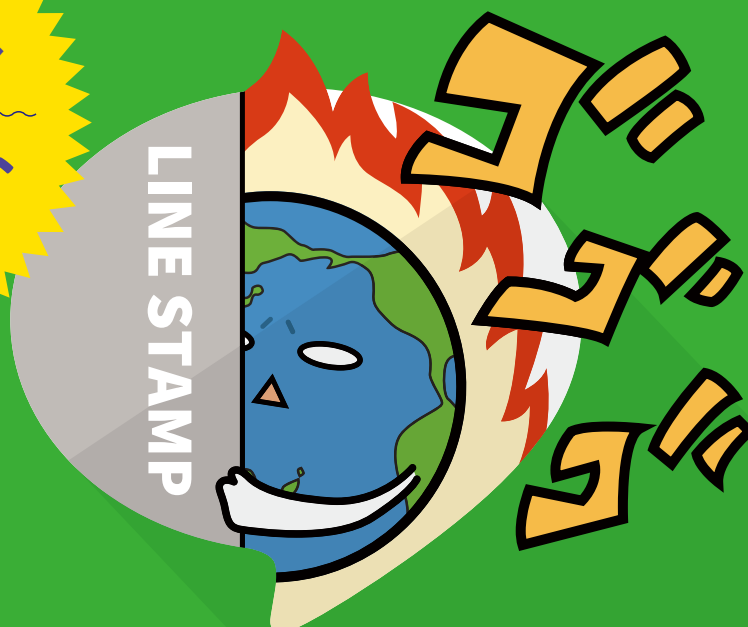


with
SBS

※SBSは、正文舎（SyouBunSyuaの略です）

《連載》
お客さまトピックス
Review of CLIENTS

札幌フルーツ
協会 様



正文舎のアレやコレ。 ————— 今月のキーワードは「L」

「株式会社 正文舎」 **A** to **Z**

LINE STAMP～お客さまの想いをクリエイトする…

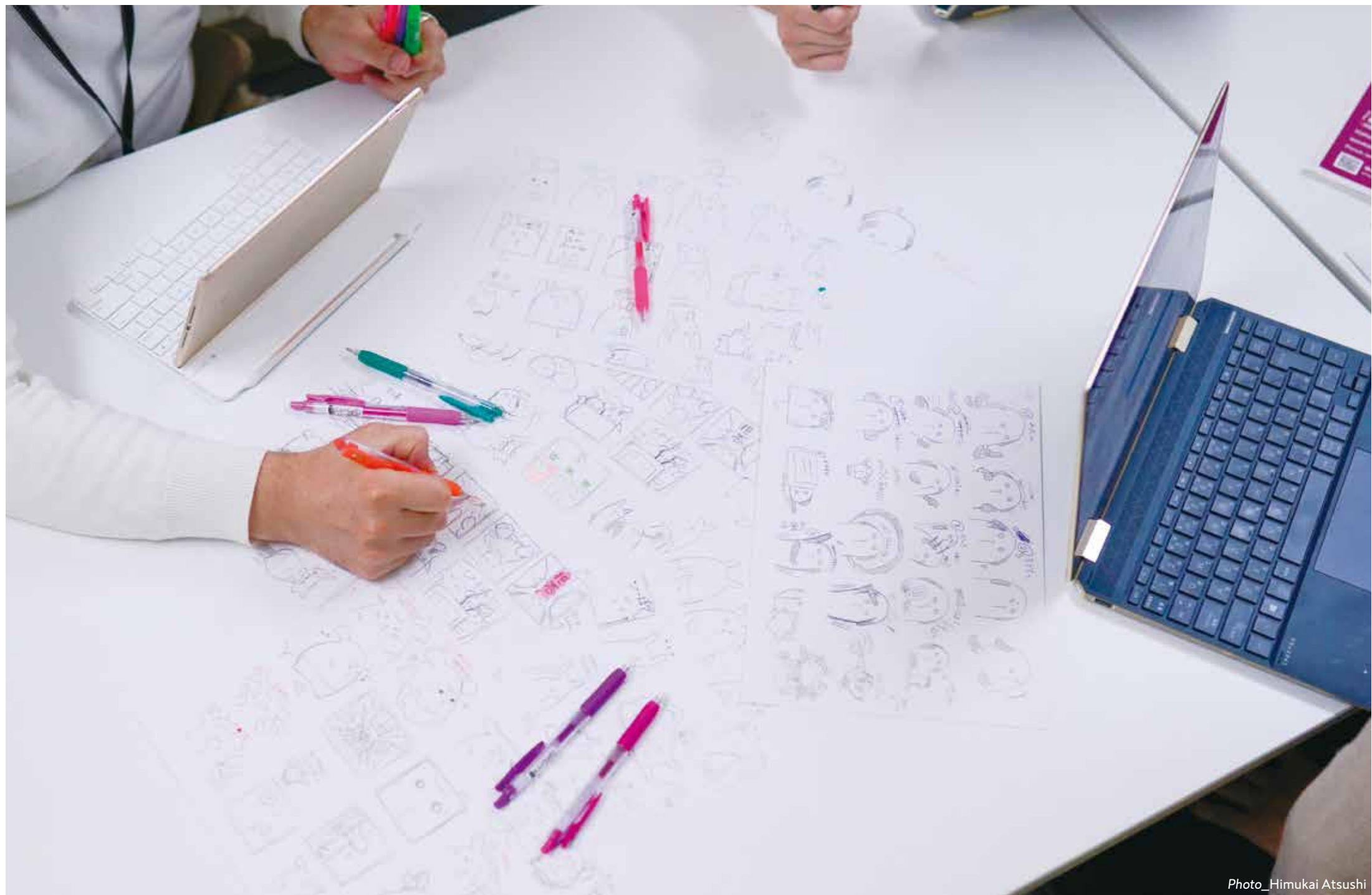
.....
New&Goods ————— 勤続年数

.....
What's NEW! ————— SNS プロジェクトチーム

.....
Focus on JAPANESE ————— うろおぼえの日本語



株式会社 正文舎のすべての情報は、WEBサイトでご確認ください。
バックナンバーもこちらから。



Photo_Himukai Atsushi

「株式会社 正文舎」 **A to Z**

LINE STAMP

Text_Ebina Mikiko

お客さまの想いをクリエイトする…

lain stæmp [名詞] コミュニケーション・ツール 「LINE」で使用するイラストメッセージ



※正文舎の公式LINEスタンプ
<https://store.line.me/stickershop/product/3121720/ja>



「お客様に喜んでもらいたいから、LINEスタンプを作りたい」
 北海道初のうさぎ専門店「ゆめみるうさぎ」を2006年から営業されている、株式会社ベットプランの大塚社長から、そんな相談をいただいたのは、2018年の春頃でした。



「スタンプを売りまくりたいとか、スタンプで集客しようというわけではなくて、スタンプを作ったらお客さんが喜んでくれるかなと思って」。そんな大塚社長の想いから、LINEスタンプ企画がスタートいたしました。



スタンプ構想スタート！

ゆめみるうさぎ様のオリジナルキャラクター自体はもともとあり、店舗の看板や、Webサイトにも出ています。ですので、スタンプもそのキャラクターを出すことで基本はよかったのですが、「そのままスタンプにしても喜ばれないんじゃない？」というご意見がLINE世代である社長の高校生の娘さんから出てきました。

「もう少しキャラをデフォルメしつつ、ゆるく崩した方が、LINEの世界観に合いそう」

ということで、まずはキャラクターのコンセプト設計がスタートです。

キャラクター紹介



うさぎのキャラクターは3種類。上のイラスト（左）から、ホーランドドロップ名前はメロンちゃん。元気なうさぎです。次いで、（中）ネザーランドドワーフのアリスちゃん。勝気で毒舌です。最後に（右）のジャージーウーリーで、名前はウーリーちゃん。おっとりキャラです。

それぞれのキャラクターに合わせて、デザインとポージング、セリフなどの提案と改良を繰り返します。

デザイン担当はWeb部門のクリエイター橋本です。正文舎の公式LINEスタンプ*も担当しています。



体形、目の黒さなど、微妙な調整を行っていました。

リリース版の確定へ

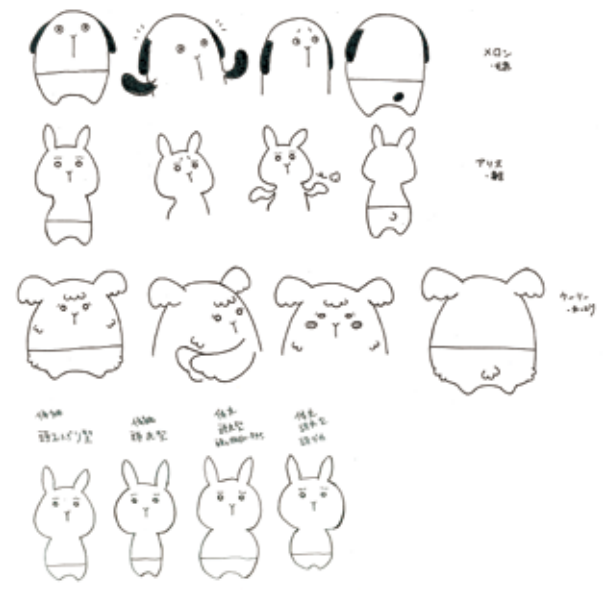
キャラクターとデザインがおおむね固まってきたので、いよいよ着色です。4月、新しい元号が発表され、店長スタンプにも組み込みのオーダーが。こちらでも複数のフォントからチョイス。



こうして最終ラインナップが確定です。

LINEへ申請！

実はLINEスタンプの中ではうさぎキャラは激戦区。「うさぎ」のみのカテゴリがあるほどです。その中でまずは札幌の店舗のお客様へ見つけていただくように、「ゆめみるうさぎ札幌☆挨拶編」というタイトルをつけてみました。申請は自社のスタンプで経験済ですので、トラブルもなく、めでたく5月3日にリリースされました！



▲歴代のラフ案と
◀完成したリリース版
Illustration_Hashimoto Takafumi

※ご購入はコチラから
<https://store.line.me/stickershop/product/7457788/ja>



うさぎが好きな方、このスタンプが気に入った方、ぜひ、スタンプを購入してお使いください。
そして、もしもうさぎの飼育に興味があれば、ぜひ「ゆめみるうさぎ」へ足をお運びください。うさぎ愛にあふれた店長とスタッフさんが、家族のように迎えてくださいますよ。



ゆめみるうさぎ WEBサイト（正文舎にて管理中）
<https://www.yume-usa.com/>



Facebook
<https://www.facebook.com/yumeusasnow/>



Instagram
<https://www.instagram.com/yumeusa2006/>

09

正文舎 New&Goods
勤続年数

Text_ Shirafuji Saori

10 連休という長いお休みが空けた5月7日、正文舎では夕礼で永年勤続の表彰が行われた。

これは正文舎の就業規則で決まっている毎年の行事である。社長も含めて、入社から5年、10年、15年、20年、25年、30年、35年、40年目にあたる人はみんなの前で表彰されるのだ。

名前を呼ばれて前に出ていく社員たちは、ちょっぴり照れくさくて、ちょっぴり嬉しそうだった。

勤続年数とは「今の会社で働いている年数」のことである。勤続年数25年というと、正文舎で働いて25年になるということだ（当たり前だけど）。

いろんなことが起こるにしても、長く働ける会社だということはいいことだなと思う。正文舎が選択されていることだから。技術のノウハウや慣習が蓄積されていくことなので、正文舎の文化が作られていることでもある。

ひとつの会社で長く働く。

終身雇用制が当たり前だった日本は、会社が歴史を作ってきたといってもいいかもしれない。

が、今の時代は価値が多種多様になっていて、「ひとつの会社で長く働く」ことがすべてではないことも実感している。

採用面接をすると、ひとつの会社だけで働いていたという人にはあまり会わない。

ユーチューブを見ていると、会社には就職せず、自分で編集して動画で配信しながら生活している若い人たちがいる。おもしろいと思うし、応援したくなる。

コンテンツマーケティングの本を読んでいると、反応を高めるためには会社名ではなく、個人名でメルマガを発行するという文章が出てきた。

会社中心に回っていた世の中が、会社中心でなくなるということ。今までも理解しているつもりだった



Illustration_Illustration K.O

けど、この頃はその事実を突きつけられているように感じる。

会社にいると、今まで通りに仕事があって、目の前にはすべきことがある。それは何も変わらない。だから、「会社」は永遠にあるように感じる。

けれども、ちょっと外に目をむけると、「会社」の影は薄くなってきているなと感じるのだ

では、今の時代で、「会社」であるよさは何だろう。ぱっと思いつくのは、言葉は悪いけれど「代わり」がいるということ。担当スタッフが休んでも、別のスタッフがかわりに担当できること。協力し合えることが、会社の良さなのではないか。

けれども、「代わりがいる」ことが会社のメリットなのかと聞かれると、それだけではさみしい気がする。

会社とは何だろう。

今の私はすぐに答えることができなかった。そして、明快な答えがでるまで、考え続けたいと思った。それがたぶん、これからも会社が存続するための答えだと思うから。

What's New!

SNS プロジェクトチーム

Text_Ebina Mikiko

クリエイティブ情報・ビジネス情報、 正文舎のあれこれをSNSでも発信します。

私ども正文舎では「クリエイティブ研究室」というチームが2018年よりスタートしており、部署を横断したメンバーが集まり、クリエイティブ活動を行っております。

本誌「会社案内 with SBS」（ニュースレター）もクリエイティブ研究室のプロジェクトチームが制作しています。

このたび、そのクリエイティブ研究室から「SNS プロジェクトチーム」が立ち上がりました。

「せっかくお役に立つ情報をまとめているのに、紙媒体だけではもったいない」

SNS上でも、ビジネス上で何かお役に立てたり、ほっこりしていただけるような情報を発信していければと考えております。



Twitter

https://twitter.com/syoubunsysa_p



facebook

<https://www.facebook.com/Syoubunsysa/>



instagram

<https://www.instagram.com/syoubunsysa/>



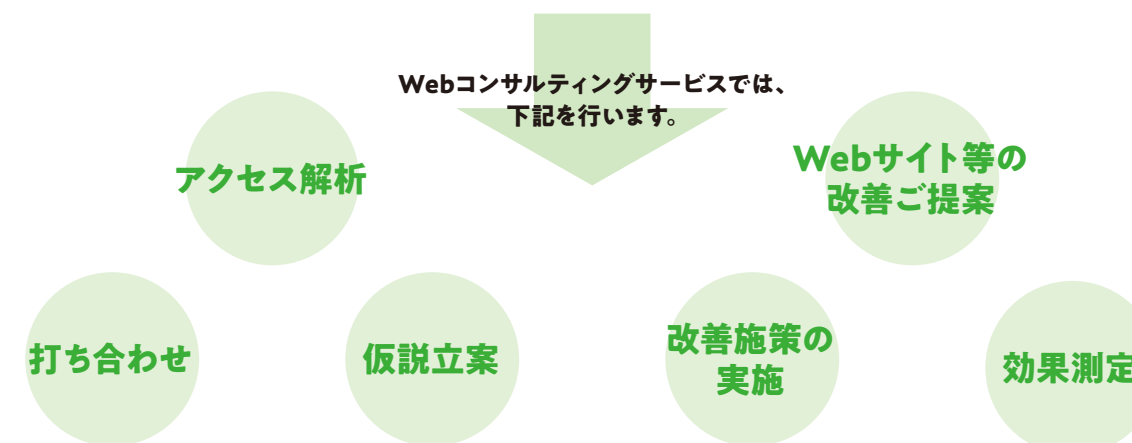
Photo_Narita Sadayuki

Webコンサルティングサービス



インターネットで ビジネスの成果を上げたい方へ

正文舎では、Webコンサルティングサービスをご用意しています。
お客さまと、Webマーケティングのゴールを共有し、そのゴールに向けて施策を実施。
効果測定を行い、PDCAを回していきます。



月に1回、3カ月に1回など、頻度はご希望に応じます。
費用はホームページの数や規模などにより異なりますので、一度ご相談ください。

◀ うろおぼえの日本語

まめ

にほんごの知識
Text_ Kurita Miyuki

06

耳で聞いた言葉を意味も考えず、つい音や感覚だけで文字にしてしまうことはありませんか。例えば、「この規則は〇〇の場合に適応されます。」という類の文を、時々見かけるのです。あてはめる場合は「適用」ですね。ときより（時折）、しいては（ひいては）といった間違いも見たことがあります。その他、「肝に銘じる〇」が「肝に命じる×」、「ご多分〇に漏れず」が「ご多聞×に漏れず」、「大いに〇」が「多いに×」、「止むを得ない」が「やむおえない」など、表記の間違いも見かけます。会話の中では問題ない、もしくは気付かなくても、文字にすると間違いがはっきりしてしまいますね。

上記の間違いとは性格が異なりますが、実は私も以前、このコラムの中で間違った表現をしてしまいました。
「…学位記・卒業証書の印刷が佳境に入ります…」
（本誌 vol.010）

お気づきだった方にも、そうでない方にも、お詫びして訂正いたします。「山場を迎える」くらいが適当だったと思います。

「佳境」という言葉は、こんな中国の故事から来ています。



Photo_Adobe Stock

晋の画家顧愷之が、さとうきびをまずい先のほうから食べていた理由を聞かれ、「漸入佳境（だんだん佳境に入る）」と答えた。

「佳境」の「佳」は「佳作」の「佳」であり“よい”という意味ですから、さとうきびのおいしいところ、物語や映画ならばもっとも面白いところや盛り上がることを指します。その境目、つまり“ここからいいところだよ”、というのが「佳境」であり、良い意味でなければなりません。単に「忙しくなる」という意味で使うのは不適切なんですね。言葉の意味をよく考えず、何となくイメージで知っているつもりになっているとこういう間違いをしています。

会話はその場で消えてしましますが、文章は正しい日本語で残したいですね。

校正の現場から。

「全然大丈夫」なんて言葉が頻繁に使われ出したのはいつからでしょうか。「全然」の否定表現を伴わない使い方は、元々かなり違和感があったのですが、あまりに広まり過ぎて、今では自分で使ってしまうこともあります。しかし、誤用であるという事実は揺るぎないものと思っていました。ところが明治・大正時代には肯定表現にも使われていたというのです。

一生徒が全然悪いです。～夏目漱石『坊ちゃん』より

必ずしも誤用ではないけれど、現在学校では否定表現を伴う語として教えている、そんな感じでしょうか。ただし、明治・大正時代に使われていたのは「すべて」「すっかり」の意味で、「全然いいね」といった強調を表す現在の使い方とはちょっと違っていただようです。

Review of CLIENTS

フルート界の向上発展と
内外フルーティスト間の
友好を目指して30年——



わたしたちのお客さまの、今。

フルート愛好家の交流団体

札幌フルート協会 様

Provide Photos_Sapporo Flute Association

設立30周年を迎えられ、その集大成として「30周年記念誌」が発行されました。

毎年、演奏会のチケットやチラシ、プログラムなどの制作をお手伝いしている札幌フルート協会様。会員数は約150名、年代は大学生から80代まで幅広く、プロとアマチュアが一体となった活動をされています。年に1回の演奏会や、発表会や講習会、また、若いフルーティストたちが活躍・交流できる場である「未来塾」の取り組みなど、そ

の活動のひとつひとつが、ここ札幌の芸術文化の発展を支えています。

昨年、設立30周年を迎えるということで、記念誌を作成しました。協会設立当時のエピソードや、活動に対する想い、また、これまでの演奏会の開催記録など、30周年を迎えるまでのこれまでの歩みが存分に紹介されています。



協会様の目的にある「フルート界の向上発展と内外フルーティスト間の友好」という真摯な想いが、この記念誌の1ページ1ページに込められています。



この30周年という記念すべき節目の年に、記念誌作成のお手伝いができて嬉しく思います。

札幌フルート協会様&正文舎のお付き合い

札幌フルート協会様は、毎年1回「札幌フルートフェスティバル」を主催なさっていて、それに向けた毎月1回の練習会を中心に活動されています。今年は6月2日に教育文化会館大ホールで開催されました。その案内チラシとチケットも弊社で制作させていただいています。

その他にも、スペシャルコンサート（これまでに12回開催）や発表会、講習会、国内外のフルーティストによる演奏会の主催やマスタークラス、フルートに関する情報や話題が満載の会報誌の発行など、多岐に渡って活動されています。また、小中高生のための講習会「未来塾」の成果は、毎年のフルートフェスティバルで披露されます。



▲弊社が手掛けた案内チラシ

Review of CLIENTS

お客さまトピックス
Text & Photo_Tokunaga Moe
Provide Photos_Sapporo Flute Association



未来塾：グループ練習のようす

■演奏会のご案内

第13回 スペシャルコンサート

・2020年3月22日(日) 13時30分開演 札幌サンブラザホール

第31回 札幌フルートフェスティバル

・2020年6月 7日(日) 13時30分開演 札幌コンサートホールKitara 大ホール



札幌フルート協会

〒064-0922 札幌市中央区南22条西8丁目1-28 シャトー山鼻401号室

[TEL・FAX]011-522-1098



E-mail
sapflute@snow.plala.or.jp



Homepage
<http://www6.plala.or.jp/sapflute/>



《 会社概要 》

社 名：株式会社 正文舎

代 表 者：代表取締役 岸 昌洋

創 業：昭和 9年 5月 1日

設 立：昭和27年 5月15日

資 本 金：1,400万円

所 在 地：[本 社]
〒003-0802
北海道札幌市白石区菊水2条1丁目4番27号
TEL.011-811-7151
FAX.011-813-2581

[東京オフィス]
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7
オリエント赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016
FAX.03-5413-4017

取扱い品目

印刷事業

【 商業印刷物 】

[情 報 系] パンフレット・リーフレット・カタログ・チラシ、会社案内、ポスター、カレンダー、PR誌、取扱説明書（マニュアル）

[物流資材系] 各種封筒、包装紙、シール・ラベル

【 出版印刷 】

[書 籍] 名鑑、各種名簿、記念誌、単行本

[雑 誌] 週刊誌、月刊誌、専門誌

[新 聞] 各種業界新聞、学校新聞

[学 参 系] 教科書、辞典、問題集、生徒会誌

[自 費 出 版] 同人誌、自分誌、詩集、エッセイ、写真集

【 業務用印刷 】

伝票・帳票各種、オンデマンド／バリアブル、小ロット印刷、賞状（学位記・証書等）印刷、可変宛名印字、ダイレクトメール

情報メディア事業（WEBサクセス） <https://www.websuccess.jp/>
各種WEBサイトの企画・制作・運営管理、各種データベースの企画・構築・運営管理、クロスメディア展開の企画・構築・運営管理

賞状net事業

賞状・表彰状等のインターネット通販サイトの運営

私たちは、令和元年5月1日、創業85周年を迎えました。



メディア・ユニバーサル・デザイン協会認定のメディア・ユニバーサルデザイン・アドバイザーの資格を持った制作者が多く在籍しています。



紙には古紙80%再生紙のOKマットコートエコグリーンを使用しています。



グリーンプリンティングの認定を受けています。



P-00023

全日本印刷工業組合連合会によるCSR認定制度の基準を達成しています。



IS 618840/ISO 27001

ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014 情報セキュリティマネジメントシステムの認証取得をしています。



ぶらねっと
©2008 syoubunsysa.inc

★ぶらねっとくんは、正文舎の業務や取組を紹介するときにどこからともなく現れるオリジナルキャラクターです。

製造から創造へ

株式会社 正文舎

札幌本社 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目4-27
TEL.011-811-7151 / FAX.011-813-2581

東京OFFICE 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7 オリエント赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016 / FAX.03-5413-4017

<https://www.syoubunsysa.co.jp>

Publisher ■ Kishi Masahiro
Creative & Art Director ■ Narita Sadayuki
Chief Editor ■ Ebina Mikiko
A to Z & What's NEW Writer ■ Ebina Mikiko
New & Goods Writer ■ Shirafuji Saori
Focus on JAPANESE Writer ■ Kurita Miyuki
Review of Clients Writer & Editor ■ Tokunaga Moe
Editor ■ Honma Kazumi
Photographer ■ Himukai Atsushi
Digital Printing & Editor ■ Watanabe Mototsugu

本誌はデジタル印刷機 Ricoh Pro C7200sで、表紙にクリアトナーを使用し、オンデマンド印刷・製本をしています。